

お見舞い

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災によって被災し、亡くなられた方に対しては、原発事故、風評被害によって将来への不安と絶望を抱き、悩み苦しんでおられる皆様に対して心からお見舞い申し上げます。

全国曹洞宗青年会では、震災発生後直ちに災害復興支援部を立ち上げ、曹洞宗宗務庁、全国曹青会員、シャンティ国際ボランティア会との連携を図り、さらには各地の市民ボランティア、現地社協をはじめとした各種団体、行政とも協力関係を構築し、初動時での緊急物資支援や現地における炊き出し、泥や廃材の撤去作業、並びに傾聴活動(行茶)などの活動を実施してきました。

私たちは、震災後これまでの復興支援活動を通して、容易に言葉にすることが出来ない程の、被災地における惨状を目の当たりにし、現状に驚き悲しみ、受容し難い別れを体験した避難所における多くの方がたの悲痛の声をお聴きして参りました。

復興への道は長く険しいものになると推察されます。

いまは瞬間に過ぎ去っていく日々、私たちに果たして何が出来るかを一人ひとりが自らに問い続けています。そこに確信はありません。しかし、私たちは被災地の一日も早い復興と、被災者の方がたの心の安寧を祈らずにはられません。

今後、復興支援へ心と行動をお寄せ頂ける全ての関係者の皆様とともに、いのちの声に耳を澄まし、被災者の方がたと復興への道を一步一步、共に歩んで参りたく存じます。

全国曹洞宗青年会 会長 久間泰弘
合掌



被災地での現地活動レポート

全曹青では、東日本大震災発生から『災害復興支援部』として、会員をはじめとした各所からの情報収集を行い、『ホームページ』での情報共有、現地での物資やボランティアのニーズの把握などに努めました。

そして3月17日に緊急対応として、福島県へ救援物資を届けたのを皮切りに、現地での炊き出しや行茶(避難所等)において、お茶を提供し、お話をしながらの傾聴活動を開始した、被災地での各曹青会の活動に対して支援活動をしています。

未曾有の広域的な大規模災害への対応に難しい面もありますが、被災者を主体に考え、復興の一助になればと考えます。(詳しくは、全曹青ホームページ『般若』でご確認下さい)

- 2 緊急レポート
東日本大震災
- 4 鼎談◎地球遊行
～世界の生死を觀じ、そして自身へ～
- 7 全曹青、発信せよ。
委員会、只今活動中



- 10 加盟団体ニュース・スポット
sousei ぱれっと
青森県曹洞宗青年会
- 12 賛助費浄納御芳名簿
- 14 あまみずのダイアログ 13 (完)
彼女の生き方
～Five Stories～(後編)
あまみずのエピローグ
- 18 お坊さん婚活心得 5 (完)
- 19 お寺暮らしのライフデザイン 5 (完)
- 20 寺めぐり 街めぐり 8 (完)
耆閭嶺山
羅漢寺を訪ねて
- 23 メメント 生死を想う 8 (完)

表紙写真：制作・撮影／白山賢吾(三重県 栢雲寺)

訂正

『sousei』152号の記事に誤りがございました。お詫びして訂正します。
8頁「全曹青第4期副会長 故・長井福雄老師を偲んで」
本文1段7行 誤)長徳寺 → 正)長得寺